

事務事業名 駅舎改修事業		所属部 木次総合センター	所属課 自治振興課
総合計画体系	政策名 < I > みんなで築くまち << 協働・行政経営 >>	所属G 自治振興G	課長名 藤原 仁美
	施策名 < 01 > 市民が主役のまちづくりの推進	担当者名 松本 暁	電話番号 40-1080 (内線) 4264
	目的: 対象 市民 意図 まちづくりの課題を主体的に解決する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 1 0 0 2 項 目 中事業 中事業 0 5 7 5 1 0	自治振興事業
	基本事業名 < 003 > まちづくり活動の拠点整備 目的: 対象 活動している市民 意図 活動しやすい場所がある。		駅舎改修事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
JR日登駅のトイレ改修及び展示室の新設

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)				
	① 地元関係者との協議打合せ	なし				
	② JR西日本との協議打合せ					
	③ 施設整備					
	・設計監理業務					
	・建築主体工事					
	・機械設備工事					
② 活動指標		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
ア	設計監理	式			1	
イ	建築主体工事	式			1	
ウ	機械設備工事	式			1	
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	JR日登駅、JR日登駅利用者	ア	既存トイレの改修	式			1
		イ	展示室の新設	式			1
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	
JR日登駅のトイレ改修、展示室の新設を行うことにより、利用者の利便性の向上、また、地域情報の発信交流を図る事ができる。	ア	JR日登駅舎改修工事進捗率	%			100.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
・設計監理業務委託 810千円 ・建築主体工事 8,029千円 ・機械設備工事 4,050千円 ・水道加入分担金 43千円 計 12,932千円	事業費	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	地方債	千円			12,200	
	その他	千円				
	一般財源	千円			732	
	事業費計(A)	千円			12,932	
	人件費	正規職員従事人数	人			2
	延べ業務時間	時間			212	
	人件費計(B)	千円			864	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			13,796	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
JR木次線の利用者が減少傾向にある。	維持管理委託を行い、駅舎は常に良好な状態であるが、汲取式トイレであった事等鑑み、今回の改修となった。	地元ボランティア団体、地域自主組織から、トイレ老朽化の改善、また情報発信を行うスペースの要望があった。

事務事業名	駅舎改修事業	所属部	木次総合センター	所属課	自治振興課
-------	--------	-----	----------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	事業完了のため
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	事業完了のため
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
A 目的 妥当性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	理由	事業完了のため
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる (具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
B 有効性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	事業完了のため
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	事業完了のため
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	公共・共有施設であるため。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
長年要望されていたトイレの洋式化と展示室を新設した。一般利用者の利便性向上と地域の情報発信が可能となる。必要最小限の施設に留め、経費についても予算内で執行した。			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																					
<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																					
利便性の向上と地域情報の発信拠点となることで今後の利用者増が期待される。																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								